

第117号

編集・発行

2018・9・11

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132
三戸町大字在府小路町17
0179(22)0262

さんのへ 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



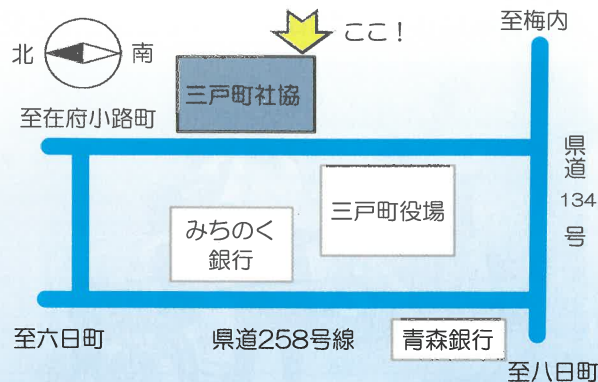
小中一貫三戸学園三戸小・中学校での高齢者疑似体験の様子 (H30.7.2)

■おもな内容

ページ

- 中学生ふれあい講座 2
- 外出支援サービス事業の車両が増車 3
- 介護職員初任者研修等受講費用補助事業 3
- 平成29年度事業報告 4
- 平成29年度決算報告 7
- 善意の窓 8
- 赤い羽根共同募金へのご協力をお願い 8

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

中学生ふれあい講座 ～中学生が福祉について学びました～

小中一貫三戸学園三戸小・中学校7年生72人が福祉学習として6月29日(金)に講話を受けました。また、7月2日(月)には高齢者疑似体験と車椅子体験を行いました。生徒からは「講話や体験を通じて、高齢者や障害者に関する理解が深まった。体験で学んだことを今後生かしていきたい」と感想がありました。

6月29日(金)の講話の様子

特別養護老人ホーム鶴亀荘生活支援員の五十嵐氏(写真左)と三戸町社会福祉協議会相談支援専門員の米田職員(写真右)から、高齢者福祉と障がい者福祉について、それぞれ講話があり、生徒の皆さんは真剣に講話に耳を傾けていました。



7月2日(月)の高齢者疑似体験と車椅子体験の様子

高齢者疑似体験セットを装着して視界や関節の可動域を制限した状態で日常動作を行うことで、高齢者の身体的な特徴を体験しました。

車椅子体験では、車椅子の基本的な操作方法と介助の方法を学びました。



高齢者疑似体験 専用ゴーグルを装着して新聞を読む様子(左)、階段の昇降動作を体験する様子(右)



車椅子体験 後ろ向きで車椅子を操作する様子(左)、段差の乗り越えを体験する様子(右)

外出支援サービス事業の車両が増車されました

平成30年7月20日(金)、外出支援サービス事業で使用する車両が1台増車されました。外出支援サービスの利用件数は年々増加傾向にあり、既存の車両だけでは対応が間に合わなくなっていました。こうした需要に対応するため、この事業の実施者である三戸町が軽ワゴンの移送車を購入し、社協に貸与していただいたものです。今後は、既存の車両(日産キャラバン)と合わせて、2台体制でサービスを提供して参ります。

外出支援サービスとは

実施主体は三戸町で、社会福祉協議会が委託を受けてサービスを提供しています。

寝たきりの方や常時車いすを利用されていて、タクシーや公共交通機関の利用が困難な方に対して、病院や福祉施設等への送迎を行うサービスです。使用する車両にはストレッチャーや車イスのまま乗車できます。

サービスの利用には利用登録手続きと事前のご予約が必要です。また、ご利用には一定の条件があります。

外出支援サービスに関するお問い合わせ
担当：平山



松尾和彦町長から関係書類を受け取る
関向社協会長

介護職員初任者研修等受講費補助事業のお知らせ ～この事業は福祉・介護の職場で働く思いのある方を応援します!～

◇実施期間◇

平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

◇対象者◇

青森県内に現住所を有し、次のいずれかに該当する方。ただし、他機関、他団体から受講費の補助または助成を受ける方は除きます。

- ①青森県福祉人材センター、弘前・八戸福祉人材バンク(以下センター等)並びに県内のハローワークの就労斡旋を受けている方
- ②センター等並びにハローワークの就労斡旋を通じて平成29年4月1日以降に就労中の方
- ③センター等が実施している「福祉施設の職場体験」に参加し、県内で福祉・介護の就労を目指す方
- ④県内の私立高等学校に在籍する次の方
 - イ. センター等並びにハローワークの就労斡旋を受けている
 - ロ. センター等が取り扱う高校生対象福祉体験講習会に参加
 - ハ. センター等が取り扱う福祉施設職場体験事業を受講
 - ニ. センター等が取り扱う福祉の仕事あれこれ出前講座を受講

◇補助額◇

8万円(受講料と教材費合わせて)

◇お申込み・お問い合わせ先◇

社会福祉法人青森県社会福祉協議会 TEL.017-777-0012 FAX.017-777-0015

平成29年度事業報告

平成29年度の事業についてご報告いたします。

事業の実施につきましては、町民の皆様をはじめ、関係機関の皆様にも多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後ともご支援、ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

1. 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

◇ほのほのコミュニティ21推進事業

地域住民による一人暮らし高齢者世帯等への見守り活動や、活動を推進するための研修会・普及啓発を行いました。

協力員数：112名 対象世帯数：121世帯 延べ活動日数：5,620日 研修会の開催：2回

◇ふれあい交流サロン

常設型のサロンをふくじゅそうと勤労青少年ホームの2ヶ所に設置しました。また町内会単位でのサロンを3地区で実施しました。

開設日数：246回 延べ利用者数：1,886名

2. 高齢者福祉の充実

◇シニア料理教室事業

男性対象の基礎的な料理教室と、女性対象の仲間づくりの料理教室を開催しました。

開催回数：7回 参加者数：47名

◇高齢者リフレッシュ事業

地域の高齢者を対象とした日帰りのレクリエーションを開催しました。

場所：岩手県八幡平市「新安比温泉静流閣」 開催日：11月9日、10日 参加者数：52名

◇家族介護者交流事業

「連携で安心！在宅医療と介護」と題して研修会を開催しました。

開催日：3月7日 参加者数：31名 講師：はちのへファミリークリニック院長 小倉和也氏

3. 障がい者福祉の充実

◇地域活動支援センター「憩いの森あすもこっ」

心身に障がいのある方の社会参加を目的に創作的活動や生産的活動の提供と作業指導を行いました。また諸活動や県内の行事にも積極的に参加しました。

通所者数：10名 諸活動：ソフトバレー交流会への参加、行事等での移動販売7回

◇障がい者と子どもの交流会

心身に障がいのある方と中学生の交流会を開催しました。

開催日：8月1日 参加者数：22名（中学生12名、障がい者10名）

4. 児童福祉の推進、ひとり親家庭の支援の充実

◇下校時見守り事業

児童の下校時の道路横断の見守りを行いました。

場所：久慈町バス停横断歩道 活動日数：174日 延べ活動人数：348名

5. 福祉教育、ボランティア活動の推進

◇社会福祉大会

大会式典と福祉功労者への表彰、講演及び福祉の意見発表を行いました。

開催日：10月28日 場所：三戸町民体育館 参加者：200名 受賞者数：5名と3団体

講師：種差少年自然の家研修課長 尾崎官一氏 意見発表者：4名

5. 福祉教育、ボランティア活動の推進

◇ボランティアセンターの設置・運営

登録ボランティアがふれあい交流サロンの運営ボランティアを行いました。

ボランティア登録者数：10名、2団体

◇ボランティアスクール

小中高生を対象にボランティアに関する講話と障がい者施設7ヶ所での体験学習を行いました。

開催日：7月25日～27日 延べ参加者数：41名 講師：清岳園 生活支援員 浪岡浩朗氏

◇子ども福祉スクール

三戸小・中学校3年生を対象に高齢者疑似体験を行いました。

開催日：9月14日 場所：三戸小・中学校体育館 参加者数：60名

◇子どもほのぼの交流員事業

三戸小・中学校4年生と地域の高齢者が交流会を行いました。

開催日：9月19日(9月6日に事前ガイダンス) 参加者数：75名(小学生67名、高齢者8名)

◇高齢者と子どもの交歓会

地域の高齢者と児童館の子どもの交歓会を開催しました。

斗川児童館 開催日：12月26日 参加者：52名(児童館38名、高齢者14名)

中央児童館 開催日：1月5日 参加者：81名(児童館56名、高齢者25名)

◇中学生ふれあい講座

三戸小・中学校7年生が町内外15の高齢者施設で体験学習を行いました。

開催日：7月10日(7月7日に事前ガイダンス) 参加者：77名

6. 福祉情報の提供、相談支援体制の充実

◇社協だよりの発行

広報紙「社協だより」を発行しました。

発行回数：5回(8月、10月、1月、2月、3月)

◇ホームページの運営

ホームページを活用して、社協事業やサービスの紹介、イベントの周知を行いました。

◇心配ごと相談事業

相談を受けた心配ごとに対して、助言や指導を行いました。

開設日数：35日 相談者数：6名 相談件数：17件

◇日常生活自立支援事業

判断能力に不安がある方に対して、金銭管理等の生活支援を行いました。

利用者数：3名 支援員数：2名

◇福祉機器貸与事業

車椅子等の福祉機器の貸与を行いました。

貸出件数：39件

◇生活福祉資金、たすけあい資金貸付事業

低所得世帯等に対して相談支援と貸付を行いました。

相談者数：16名 貸付件数：生活福祉資金0件 たすけあい資金7件 金額：124,000円

◇フードバンク事業

低所得世帯等に対して緊急的な食料品の提供を行いました。

利用者数：8名 提供物品：缶詰、レトルト食品、カップラーメン等

7. 社協組織の強化

◇社協会費

平成29年度も会費納入にご協力いただきありがとうございます。納入いただいた会費は地域福祉活動の貴重な財源として活用させていただきます。

納入件数：3,107件 納入金額：3,366,300円

8 地域生活支援事業

◇外出支援サービス

寝たきりや常時車いすの方に対して、送迎サービスを提供しました。

利用者数：516名 利用件数：1,617件

◇除雪支援サービス

有償ボランティアが高齢者世帯等に対して生活道路の除雪を行いました。

派遣回数：148回 利用登録者数：89名

◇みまもり配食サービス

食事の用意が困難な高齢者等を対象としたお弁当の配達サービスを行いました。

延べ食数：13,465食

◇福祉安心電話サービス

高齢者世帯等に安心電話を設置し、緊急時の安心、安全を提供しました。

設置台数：36台 緊急通報件数：7件

9在宅福祉サービス事業

◇居宅介護支援サービス（ケアマネジメント）

ケアマネジャー7名体制で、利用者が安心して生活するための支援を行いました。

居宅支援業務：2,429件 介護予防支援業務：88件 要介護認定調査業務：169件

◇計画相談支援業務

障がいのある方が安心して生活するためのサービス計画を作成しました。

利用者数：63名

◇訪問介護サービス

訪問介護員20名体制で、利用者への身体介護と生活援助のサービスを提供しました。

利用者数：1,041名 利用件数：12,062件

◇障害福祉サービス

障がいのある方への身体介護と生活援助のサービスを提供しました。

利用者数：92名 利用件数：1,577件

◇訪問入浴サービス

入浴が困難な方に対して、専用車両を使用し在宅での入浴サービスを提供しました。

利用者数：52名 利用件数：207件

10. 公益事業

◇シルバー人材センター

定年退職者などのシルバー世代が、これまで培った経験を活かして、企業や家庭から草刈り作業等の依頼に応えました。

会員数：34名 受注件数：142件 受注金額：4,074,543円 延べ就業人数：841名

11. 収益事業

◇三戸町一括受託業務

役場庁舎や小中学校、図書館などの公共施設の管理業務を行いました。

平成29年度決算報告

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	介護保険事業収入	87,177,126
	障害福祉サービス等事業費収入	6,777,240
	会費収入	3,432,300
	事業収入	25,530,178
	共同募金配分金収入	2,090,500
	助成金収入	208,500
	受託金収入	74,527,847
	貸付事業等収入	181,000
	経常経費寄附金収入	3,160,507
	受取利息配分金収入	1,196
	その他の収入	5,099,155
	事業活動収入計(1)	208,185,549
	人件費支出	171,099,111
	事業費支出	10,528,547
	事務費支出	18,864,237
	貸付事業費支出	124,000
	共同募金配分金事業費支出	600,414
その他の活動による収支	助成金支出	0
	事業活動支出計(2)	201,216,309
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,969,240
	施設整備等収入計(4)	0
	施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
	積立資産取崩収入	11,556,346
	その他の活動収入計(7)	11,556,346
	積立資産支出	9,245,955
	その他の活動支出計(8)	9,245,955
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,310,391
	予備費(10)	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	9,279,631
	前期末支払資金残高(12)	43,963,110
	当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	53,242,741

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動増減の部	介護保険事業収益	87,177,126
	障害福祉サービス事業費収益	6,777,240
	会費収益	3,432,300
	その他の収益	5,033,282
	事業収益	25,530,178
	共同募金配分金収益	2,090,500
	助成金収益	208,500
	受託金収益	74,527,847
	経常経費寄附金収益	3,160,507
	サービス活動収益計(1)	207,937,480
	人件費	161,641,433
	事業費	10,528,547
	事務費	18,864,237
	共同募金配分金事業費	600,414
	助成金	0
	減価償却費	2,288,770
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲510,007
サービス活動増減の部	基金組入額	3,161,173
	サービス活動費用計(2)	196,574,567
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	11,362,913
	受取利息配当金収益	1,196
	その他のサービス活動外収益	65,873
	サービス活動外収益計(4)	67,069
	サービス活動外費用計(5)	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	67,069
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	11,429,982
	特別収益計(8)	0
	固定資産売却損・処分損	4
	特別費用計(9)	4
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲4
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	11,429,978
	前期繰越活動増減差額(12)	41,351,300
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	52,781,278
	基本金取崩額(14)	0
繰越活動増減差額の部	その他の積立金取崩額(15)	▲108,508
	その他の積立金積立額(16)	▲108,484
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	52,781,254

貸借対照表

(単位:円)

資産の部	
勘定科目	当年度末
流動資産	70,036,555
現金預金	44,613,704
事業未収金	15,027,243
未収金	54,110
未収補助金	10,311,498
前払金	30,000
固定資産	58,123,961
基本財産	1,000,000
その他の固定資産	57,123,961
機械及び設置	0
建設附属設備	286,012
車輛運搬具	1,359,498
器具及び備品	544,136
電話加入権利	292,584
ソフトウェア	844,778
退職手当積立基金預け金	37,026,910
退職給付引当資産	4,661,410
福祉基金積立資産	9,621,117
備品購入等積立資産	2,431,516
出資金	1,000
たすけあい資金貸付金	55,000
資産の部合計	128,160,516

負債の部	
勘定科目	当年度末
流動負債	16,793,814
事業未払金	14,050,834
その他の未払金	2,229,880
預り金	4,458
職員預り金	450,552
前受金	58,000
固定負債	44,293,740
退職給付引当金	44,293,740
負債の部合計	61,087,554
純資産の部	
基本金	1,000,000
基本金	1,000,000
基金	9,621,117
福祉基金	9,621,117
国庫補助金等特別積立金	1,239,075
国庫補助金等特別積立金	1,239,075
その他の積立金	2,431,516
備品等購入積立金	2,431,516
次期繰越活動増減差額	52,781,254
(うち当期活動増減差額)	11,429,978
純資産の部合計	67,072,962
負債及び純資産の部合計	128,160,516

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。
(平成30年7月1日～平成30年8月31日まで)

寄附金の部

- ・三戸町青色申告会 前女性部 様105,405 円
- ・住谷野 従業員一同 様 20,000 円

寄せられた善意は、地域福祉活動のために使わせていただきます。

赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします

例年、共同募金運動にご協力をいただきありがとうございます。今年も10月1日から来年の3月31日までの6ヶ月間、全国一斉に募金運動が行われます。町内会の班長さんが赤い羽根を持って、皆様のご自宅を訪問いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



共同募金とは

共同募金運動は、都道府県を単位に行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいたご寄附は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。

共同募金のしくみ

共同募金は、地域の福祉団体等からの助成の申請を基に助成計画を立案し、その計画に基づき、助成事業に必要とされる目標額を毎年定めています。つまり、地域ごとに課題解決に必要な使いみちの額を事前に定めてから、寄附を募る「計画募金」です。

募金による助成には、市区町村での活動を応援する地域助成と、市区町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援する広域助成があります。全国的な統計では、地域助成と広域助成の一部を合わせて、集まった募金の約7割が募金をいただいた地域で使われています。残りの3割は市区町村を越えた広域での活動や災害時の備えのためなどに使われています。

三戸町ではこのように使われています

社会福祉大会や社協だよりの発行、在宅で介護をしている人を支援する事業や高齢者と子どもの交流事業など幅広く使われています。



ふれあい交流サロン事業



子ども見守り隊事業

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262